真岡市行政評価システム

評価対象年度　令和7　年度

事務事業評価マネージメントシート

作成日　令和8年4月23日

事務事業名	体力向上推進事業	担当課・係	教育委員会　学校教育課　指導係
政策名　No	1　「人づくり」～豊かなこころアップ！～	関連するSDGs･DX	 DX
施策名　No	2　心の教育と健やかな体づくり		

成果指標	名　称	単　位	初年度からの実績値の比較 R7	R8	R9	R10	R11	目標値 R11
	全国体力・運動能力調査で全国を上回った小学校(男子)	校	11					
	全国体力・運動能力調査で全国を上回った小学校(女子)	校	12					
	全国体力・運動能力調査で全国を上回った中学校(男子)	校	4					
	全国体力・運動能力調査で全国を上回った中学校(女子)	校	7					
	「運動が好きだ」と答える児童の割合	%	90.2					
	「運動が好きだ」と答える生徒の割合	%	84.75					

事業内容

体力向上と運動に親しむ児童生徒を増やす。
①児童生徒の体力の低下傾向を改善するため、各学校においては、工夫・改善を図りながら体力の向上に努めている。各校の取組がより効果的になるよう、真岡市体力向上推進委員会を２回開催し、真岡市体力向上プログラムや真岡市チャレンジカードを改善し、各校の体力向上に向けた実践を支援する。
②新体力テストにおける長座体前屈、50m走、ソフトボール投げ（小学校）、ハンドボール投げ（中学校）の結果が全国を下回っているため、改善に向けて、運動に親しみ、運動する習慣づくりを行う「真岡市チャレンジカード」、「学級対抗長縄８の字跳びにチャレンジ『８の字もおかぴょん』」の取組を広める。
③投力向上に向けて、投げる遊び・運動を日常の遊びや授業に期間を決めて取り組み、技術を高めてから投力だけの真岡市第２回新体力テストを実施する。投力について３年計画（R6～R8）で実施する。

前年度の課題（Check）

全国平均を上回るために、投力向上３年計画を立て、冬季に真岡市独自に第２回体力テスト（投力のみ）に取り組んだ。

７年度振り返り

【１】実績（Do）７年度に実施した事業
・令和６年度と同様に、全国体力･運動能力、運動習慣等調査の課題である柔軟性と走力、投力のうち、投力に力を入れる３年計画のうち２年目を迎える。投力に特化した真岡市第２回新体力テストを今年度も実施。
・日常的に体を動かすことの楽しさが感じられるように「真岡市チャレンジカード」を配布し、体を動かす習慣をつくり、課題改善につながるようにしてきた。小中学校では、「学級対抗長縄８の字跳びにチャレンジ『８の字もおかぴょん』」を実施する。
・以前から実施してきた「真岡市体力向上プログラム」の内容を更新して、運動好きな児童生徒を増やし、柔軟性と走力、投力の課題解決につなげていきたい。そのために、真岡市体力向上推進委員会（年２回）を開催する。また、小中学校では「体力推進アップシート」を活用した体力向上の取組を推進する。
・小学校においては、県の体力向上エキスパートティーチャー派遣事業と連携をし、各学校の取組を推進する。

【２】結果と課題（Check）
投力向上２年目となり、各校においては、冬季に投げる遊びや動きを楽しみながら実施できるように工夫したところ、結果が全国を上回った。５０m走についても全国を上回る結果が得られた。

今後の方向性と具体策

□ 廃止　□ 休止　□ 目的絞り込み　□ 目的拡充　□ 事業統廃合　□ 事業のやり方改善　□ 予算削減　□ 予算増大　■ 現状維持(従来通りで特に改革改善しない)

【３】具体的な改善策(Action➡Plan)　課題に記載された内容の解決に向けた取り組みについて、**いつ、何を、どのように実施し解決に導くのかを具体的に**記載してください。

(1) ただちに取り組むべきこと
投力の向上３年目計画（小学校のソフトボール投げ、中学校のハンドボール投げ）を実施し、投力の向上を図る。

(2) 長期的な計画で検討すること
全国平均と同等以上の結果を継続的に残す。